

このとき、 A が正則である $\Leftrightarrow |A| \neq 0$ であり、 $A^{-1} = \frac{1}{|A|} \tilde{A}$

A が正則ならば、 $AX = E$ となるものが存在するため、 $A^{-1} = X$ が存在する。このとき、 $(A|X) = (E|I)$ 、 $|A| \neq 0$

すなわち、 $|A| \neq 0$ が満たされていれば、 $A\tilde{A} = \tilde{A}A = |A|E$
より、 $A \times \frac{1}{|A|} \tilde{A} = E$ 、 $\frac{1}{|A|} \tilde{A} \times A = E$ が成り立つ。

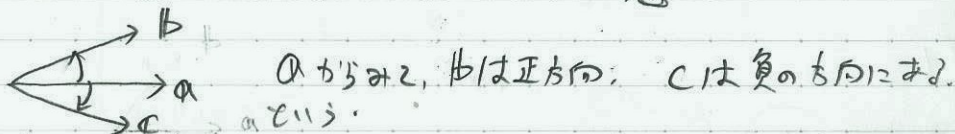
よって、 $\frac{1}{|A|} \tilde{A} = A^{-1}$ となる。

④ ヴェーデルマンの行列式

$$\begin{vmatrix} 1 & 1 & \dots & 1 \\ \lambda_1 & \lambda_2 & \dots & \lambda_n \\ \lambda_1^2 & \lambda_2^2 & \dots & \lambda_n^2 \\ \vdots & \vdots & \dots & \vdots \\ \lambda_1^{n-1} & \lambda_2^{n-1} & \dots & \lambda_n^{n-1} \end{vmatrix} = \prod_{1 \leq i < j \leq n} (\lambda_j - \lambda_i)$$

教科書を5分以内 (教科書以上に分かりやすく説明してください。)

2次と3次の行列式の幾何学的意味



a から見て、 b は正方向、 c は負の方向にある。

① $|a \ b|$ が正の値をもつための必要十分条件は、 $|a \ b| > 0$ である。

$$a = \begin{pmatrix} |a| \cos \theta_1 \\ |a| \sin \theta_1 \end{pmatrix} \quad b = \begin{pmatrix} |b| \cos(\theta_1 + \theta_2) \\ |b| \sin(\theta_1 + \theta_2) \end{pmatrix} \quad \times \text{サイン}$$

$$|a \ b| = \begin{vmatrix} |a| \cos \theta_1 & |b| \cos(\theta_1 + \theta_2) \\ |a| \sin \theta_1 & |b| \sin(\theta_1 + \theta_2) \end{vmatrix} = |a| |b| \sin \theta_2 \quad \text{サインの和}$$

つまり、 a から見て、 $0 < \theta_2 < \pi$ である $\Rightarrow |a \ b| > 0$ であり、 b が a に対して正の方向にあるとき、 $|a \ b| > 0$ となる。

同様に、 a, b, c が3次元空間内に存在し、 c が右手法系であるとき、 $|a \ b \ c|$ が正の値をもつ。

② a, b を辺にもつ平行四辺形の面積は、 $|a \ b|$ である。
ただし、 a から見て、 b が正の方向にあるとき。 (教科書参照)

③ $a \times b = -b \times a$... 正の方向が、負の方向が逆転する。

$$k a \times b = k (a \times b) = a \times k b \quad \dots \text{平行四辺形の面積を考慮する} \\ \text{中かきも}$$

$$(a+b) \times c = a \times c + b \times c \\ a = \begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix} \quad b = \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{pmatrix} \quad c = \begin{pmatrix} c_1 \\ c_2 \\ c_3 \end{pmatrix} \quad \text{よって} \quad a+b = \begin{pmatrix} a_1+b_1 \\ a_2+b_2 \\ a_3+b_3 \end{pmatrix}$$

$$\text{よって、} (a+b) \times c = \begin{pmatrix} (a_2+b_2)c_3 - (a_3+b_3)c_2 \\ (a_3+b_3)c_1 - (a_1+b_1)c_3 \\ (a_1+b_1)c_2 - (a_2+b_2)c_1 \end{pmatrix}$$

$$a \times c + b \times c = \begin{pmatrix} a_2 c_3 - a_3 c_2 \\ a_3 c_1 - a_1 c_3 \\ a_1 c_2 - a_2 c_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} b_2 c_3 - b_3 c_2 \\ b_3 c_1 - b_1 c_3 \\ b_1 c_2 - b_2 c_1 \end{pmatrix} \\ = \begin{pmatrix} (a_2+b_2)c_3 - (a_3+b_3)c_2 \\ (a_3+b_3)c_1 - (a_1+b_1)c_3 \\ (a_1+b_1)c_2 - (a_2+b_2)c_1 \end{pmatrix} = (a+b) \times c$$